

ホウシャガメの有精卵率と孵化率の調査

大滝侑介

(横浜市立野毛山動物園)

野毛山動物園で飼育するホウシャガメの 2018 年度から 2021 年度までの産卵数に対する孵化率および有精卵率，また産卵サイズが有精卵率に影響を及ぼすのか調査した．試供個体 4 頭とも警察からの保管依頼で来園しているため誕生日および過去の産卵歴は不明である．孵卵温度は 28.0℃～30.0℃で孵卵し 1 日 1 回温度と湿度を計測した．有精卵の確認は孵化時及び卵の処分時の割卵による目視にて発生の有無を確認した．1 年間の区切りは 4 月から翌年 3 月までの年度単位とした．産卵サイズの計測は 2019 年のみ二方向より，以降は三方向よりノギスを用いて計測した．年度毎での規則性は確認できなかった．従来の孵化率が低いため，有精卵が少ないものと思われていたが，有精卵率が高く見られる年度があることから温度管理の不備により中止卵となっ
てしまっている可能性がある．産卵サイズによる有精卵率は真球に近い卵よりも僅かに扁平の卵の方が有精卵の割合が高い結果となった．